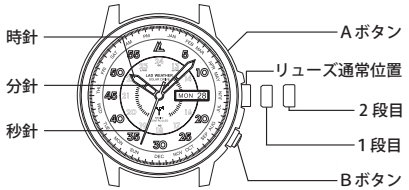
LAD WEATHER
ラドウェザー
lad017

取扱説明書

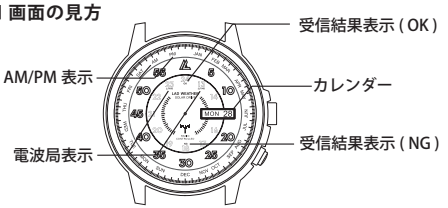
1 各部の名称と主なはたらき

■ 各ボタンの名称



※Aボタンは先端の細いもので押して下さい。

■ 画面の見方



表示内容	指し示す方向	表記	結果・詳細
受信結果	12時方向	OK	受信できている
	6時方向	NG	受信できていない
電波局	11時方向	JJY60	周波数 60kHz
	1時方向	JJY40	周波数 40kHz
AM/PM	11時方向	AM	午前
	11時と12時の間	PM	午後

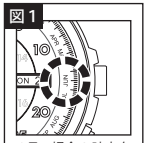
■ カレンダーの表示と見方

文字盤の内側の円に沿って書かれている「JAN」や「SUN」などのアルファベットは、「月」や「曜日」、「午前 / 午後」などの情報を確認する際の目印です。

月の表示は文字盤右側（12 時～ 6 時）に書かれています（図 1 参照）。

曜日の表示方法は文字盤右のカレンダー窓とは別に文字盤左側に書かれています。
各曜日に対応する表示は、右の表を参照してください。

図 1



6月の場合 3 時方向（JUN）を指します。

曜日	カレンダー窓（英語/スペイン語）
日曜	SUN / DOM
月曜	MON / LUN
火曜	TUE / MAR
水曜	WED / MIER
木曜	THU / JUEV
金曜	FRI / VIER
土曜	SAT / SAB

2 はじめに

この腕時計は電波を受信して時刻を合わせます。
一般的な腕時計のように、リューズを回しての時刻調整はできません。
正しく時刻を合わせる為に、ご使用前に以下の作業を行って下さい。

① 腕時計の充電

時刻修正には十分な電池残量が必要です。
文字盤に 1 時間半ほど光を当て、充電して下さい。
秒針が 1 秒ごとに動くのを確かめ、②に進みます。

② 日付の確認

1. カレンダー窓の曜日、日付が正しいか確認します。
（■カレンダーの表示と見方の表参照）

2. カレンダーが正しい場合、③に進みます。
正しくない場合は、「**3 針位置の調整方法**」を確認し、調整を行ってください。

③ 針の位置の確認

静電気などにより、針の位置がズレる場合があります。
以下の操作を行い、針の位置が正しいか調べます。

1. Bボタンを1回押すと秒針が回転して4種類の情報を自動的に指し示します。
5 秒ごとに「受信結果」→「月」→「曜日」→「AM/PM」の順で指し示した後、停止します。
秒針は現在の秒になると動き出します。（最大2分かかります）
秒針の停止位置は「**1 各部の名称と主なはたらき**」を参照してください。

秒針が別の位置を指した場合、
「**3 針位置の調整方法**」の手順で針位置を合わせます。
正しい位置を指した場合は④へ進みます。

④ 電波の受信

設定後に自動受信すると、時刻修正が行われます。
すぐに時刻を合わせる場合
「**4 電波の受信について**」を参考に、電波の強制受信を行って下さい。

3 針位置の調整方法

針位置の調整は、以下の手順で行います。

1. リューズを通常位置から 1 段階引きます。
秒針は動いたままの状態です。

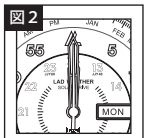
2. カレンダーを前日の日付、前日の曜日に合わせます。
リューズを手前に回して日付、奥に回して曜日を合わせます。

※午後 11 時ごろから午前 4 時ごろまでの間に日付を合わせると、日付が変わらない場合があります。

3. リューズをさらに 1 段階引きます。
秒針は止まります。

4. Aボタンを何度か押して秒針を進め、秒針を真上に合わせます。

図 2



すべての針が真上に来るようにします。

5. リューズを奥に回し、時針、分針を真上に合わせます（図 2 参照）。
この時カレンダーは日付は当日の日付に、曜日は前日の曜日になります。
カレンダーの日付が前日のままの場合は時針をもう 1 周回し、再度真上に合わせて下さい。

6. リューズを押し込み、通常位置に戻します。

7. 針が回りだし、時刻修正が行われます。
終わるまで操作をせず待ちます。
時刻修正が終わると、秒針が 1 秒ごとに動きます。
※時刻修正には 4 ～ 12 分ほどかかります。

4 電波の受信について

【 自動受信 】

この腕時計は、午前 3 時と午前 4 時に自動受信を行います。
電波を受信しやすい場所（窓際など）に腕時計を置いて下さい。
受信に成功した時点で、自動受信を終了します。

【 強制受信 】

以下の手順で、時間を選ばず強制的に電波の受信ができます。

1. 電波を受信しやすい場所に腕時計を置きます。

2. Aボタンを長押しします。
秒針が動き、「JJY60」もしくは「JJY40」を指して停止します。
自動的に適切な受信範囲の電波局が選択されます。
再度Aボタンを長押しすることで電波局の切り替えも可能です。

図 3

11 時方向が「JJY60」
1 時方向が「JJY40」

3. 腕時計を置いたまま、4～12分待ちます。

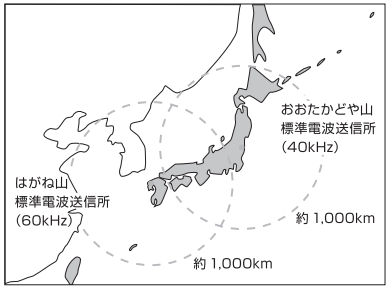
【 受信環境について 】

受信範囲の目安：JJY60・JJY40

情報通信研究機構により運用されています。
国内 2 ヵ所からそれぞれ異なる周波数で送信されます。

福島：おおたかどや山：周波数 40kHz
九州：はがね山：周波数 60kHz

受信範囲の目安は、各送信所を中心に、
半径約 1,000km です。



【 受信結果の確認方法 】

1. リューズが通常位置にあることを確認します。

2. B ボタンを押すと秒針が動き、受信結果を指し示します。

OK（12時方向）…受信できている

NG（6時方向）…受信できていない

秒針は 5 秒停止した後、自動的に次の情報を指し示します（「2 はじめに」の「③針の位置の確認」参照）。

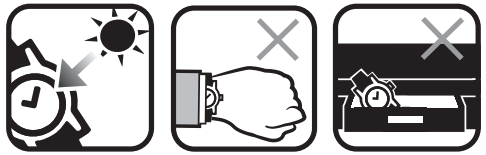
5 ソーラー充電機能について

この腕時計の充電は、文字盤に光を当てて行います。曇りの日や太陽光の弱い冬は、充電に時間がかかる場合があります。

以下の状況では充電不足になりやすく、注意が必要です。

・時計が衣服の袖に隠れている

・光の当たりにくい環境での 使用や保管が続く



充電時間については、下記の表を参考にして下さい。

使用環境	明るさ（ルクス）	1日分の充電に必要な時間	1秒運針になるまで
太陽光（直射）	10000～100000	10～20分	6～8時間
太陽光（曇り）	3000	80分	60時間
30Wの蛍光灯（距離20cm以内）			
インテリアライト	500	4時間	200時間

6 パワーセーブ機能

充電不足の状態が続くとパワーセーブ機能が働き、腕時計が停止します。
この機能は太陽光に当てたり、いずれかのボタンを押すと解除されます。

解除後は充電を行って下さい。
また針の位置がズレている場合があります。
「**3 針位置の調整方法**」の作業を行って下さい。

7 防水について

・この腕時計は 10 気圧防水です。

・防水性能は経年劣化します。性能を維持するためには、2～3年に 1 度の点検が必要です。

・防水性能は、必ずしも水圧に対応するとは限りません。
水中での大きな動きや、水圧のかかるシャワーなどは、大きな圧力がかかることがあります。

・リューズは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用下さい。

・水中でリューズ操作をしないで下さい。

・海水に浸した時や大量の汗をかいた後は、よく拭き取って下さい。
水分がついたままリューズを操作しないで下さい。

・お風呂やサウナへの腕時計の持ち込みは故障の原因となりますのでおやめ下さい。

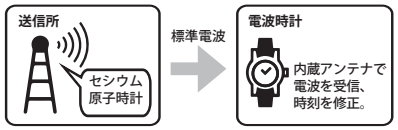
・腕時計内部にも多少の湿気があり、外気温が時計内より低い時、ガラス面にくもりが出る場合があります。くもりが一時的なものの場合は支障はありませんが、長時間消えない場合はお買い上げの店または時計店にご相談下さい。

手洗い	水泳	シュノーケリング	ダイビング	お風呂	サウナ
○	○	○	×	×	×

8 電波受信機能

【電波受信のしくみ】

時刻情報をのせた標準電波を受信して、時刻を修正します。



標準電波の時刻情報は、およそ 10 万年に 1 秒の誤差という超高精度を保つ「セシウム原子時計」によるものです。

トラブルシューティング

■ 針がぐるぐる回って止まりません。
この腕時計は電波を受信すると、自動的に時刻調整を行います。
針が回っている間は時刻調整中です。
そのまま 4～12 分ほど操作せずにお待ち下さい。

■ 秒針が 2 秒ごとに動きます。
秒針が 1 秒ごとではなく 2 秒ごとに動くのは、電池残量低下のサインです。
説明書の「5 ソーラー充電機能について」を参考に、充電を行って下さい。

■ 腕時計が止まってしまいました。
光が当たらない状態が続くとパワーセーブ機能が働き、腕時計が停止します。
パワーセーブ機能は太陽光に当てたり、いずれかのボタンを押すと解除されます。
詳しくは説明書の「6 パワーセーブ機能」をご覧下さい。

■ ボタンを押しても針が動きません。
充電不足の可能性があります。
説明書の「5 ソーラー充電機能について」を参考に、充電を行って下さい。

■ 電波の受信ができません。
受信しにくい環境がございます。
受信の際には、下記のような環境は避けて下さい。
また、同じ場所でも時間帯によって受信環境は異なります。
電波の特性により、夜間の方がより受信しやすくなります。

【 電波を受信しにくい環境 】
- 家電製品の近く（テレビ、冷蔵庫など）
- OA 機器の近く（携帯電話、パソコンなど）
- 金属製の家具の上や近く
- 工事現場、交通量の多い場所など電波障害の起こる場所
- ビルの中、ビルの谷間や地下
- 高圧線やテレビ塔、電車の架線の近く
- 乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）

■ 電波を受信しているのに時刻が合いません。
針位置がズレています。
説明書の「3 針位置の調整方法」をご覧下さい。

保証規定

当店専用の保証書です。

購入日はございませんが、当社にてお客様の購入日を保管させて頂いております。

1：無料保証（保証の範囲）
通常のお取り扱いで、お買い上げ後 1 年以内に生じた自然故障。

2：保証の対象となる部分
保証の対象部分は、時計本体（ムーブメント・電子回路部分・機械部分）の自然故障のみとなります。
ケース・ベルトなどの外装部分は保証対象に含まれておりません。

次のような場合には、保証期間内でも無料修理いたしかねます。
- 誤ったご使用や、不注意による故障または損傷
- 不当な修理や、改造による故障または損傷
- 天災地変による故障または損傷
- 水の浸入による故障または損傷
- ご使用中に生じる小キズなどの外観上の変化
- 本保証書に販売店およびお買い上げ年月日の記載がない場合や、字句を書き換えられた場合
- 本保証書のご提示がない場合

3：保証期間経過後は有償にて修理させていただきます。

4：本保証書は日本国内に限ります。

5：本保証書によってお客様の権利を制限するものではありません。

6：本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。